

第36回介護福祉士国家試験の合格基準及び正答について

1 合格基準

(1) 筆記試験の合格基準

次の2つの条件を満たした者を筆記試験の合格者とする。

ア 総得点125点に対し、得点67点以上の者（総得点の60%程度を基準とし、問題の難易度で補正した。配点は1問1点である。）。

イ アを満たした者のうち、以下の「11科目群」すべてにおいて得点があつた者。

- ①人間の尊厳と自立、介護の基本
- ②人間関係とコミュニケーション、コミュニケーション技術 ③社会の理解
- ④生活支援技術 ⑤介護過程 ⑥こころとからだのしくみ ⑦発達と老化の理解
- ⑧認知症の理解 ⑨障害の理解 ⑩医療的ケア ⑪総合問題

(2) 実技試験の合格基準

筆記試験の合格者のうち、次の条件を満たした者を実技試験の合格者とする。

総得点100点に対し、得点53.33点以上の者（総得点の60%程度を基準とし、課題の難易度で補正した。）。

2 筆記試験の正答

領域：人間と社会

人間の尊厳と自立

問題番号	1	2
正 答	5	2

人間関係とコミュニケーション

問題番号	3	4	5	6
正 答	5	3	4	1

社会の理解

問題番号	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
正 答	1	3	5	5	2	3	5	4	4	1	3	2

領域：こころとからだのしくみ

こころとからだのしくみ

問題番号	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正 答	3	1	3	1	1	4	5	4	2	2	5	4

発達と老化の理解

問題番号	31	32	33	34	35	36	37	38
正 答	3	2	5	1	4	5	3	4

認知症の理解

問題番号	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
正 答	1	1	4	2	5	3	3	4,5	1	2

障害の理解

問題番号	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
正 答	1	2	5	2	4	3	3	2	5	4

領域：医療的ケア

医療的ケア

問題番号	59	60	61	62	63
正 答	5	4	1	2	3

領域：介護

介護の基本

問題番号	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73
正 答	5	5	3	2	3	4	1	3	4	5

コミュニケーション技術

問題番号	74	75	76	77	78	79
正 答	2	3	2	2	1	4

生活支援技術

問題番号	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
正 答	3	1	4	2	5	4	5	3	5	1
問題番号	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
正 答	2	3	3	2	4	5	1	1	5	4
問題番号	100	101	102	103	104	105				
正 答	2	5	3	4	2	3				

介護過程

問題番号	106	107	108	109	110	111	112	113
正 答	2	4	1	3	5	4	3	1

総合問題

総合問題

問題番号	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125
正 答	1	1	4	4	3	5	5	2	3	4	3	2

第36回介護福祉士国家試験における正答の取扱いについて

午前 問題46

認知症の理解

問題46 バリデーション(validation)に基づく、認知症(dementia)の人の動きや感情に合わせるコミュニケーション技法として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 センタリング(centering)
- 2 リフレージング(rephrasing)
- 3 レミニシング(reminiscing)
- 4 ミラーリング(mirroring)
- 5 カリブレーション(calibration)

採点上の取扱い

選択肢4及び選択肢5に得点する。

理由

問題文からは、選択肢4と選択肢5のいずれも正答となるため。